

コアシンポジウム 3

「消化管疾患治療学の新展開 【消化管治療での新テクノロジー】」

主司会 鈴木 翔（国際医療福祉大学市川病院消化器内科）

副司会 関口 正宇（国立がん研究センター中央病院内視鏡科／検診センター）

近代医学は科学技術の進歩とともに発展してきた。消化管疾患においても、内視鏡機器の改良や光線力学療法の登場により診療内容は大きく変化した。また、近年では機械深層学習を用いたいわゆる AI による補助や、数理モデルを用いたシミュレーション予測も注目されている。本セッションでは、このようなデバイス開発、生体計測手法、AI、数理モデル、ビッグデータ解析など、ハード・ソフトウェア両面で消化管診療に寄与する新しい技術について幅広く募集する。